

まだまだ現役で頑張りたい！

お口からはじまる健康生活



2025年11月30日(日)
13:00~16:30

会場: 永福和泉地区民センター
〒168-0063 杉並区和泉3-8-18
電話: 03(5300)9412
京王井の頭線永福町駅 徒歩5分

1階会場

健康測定



杉並区地域包括
支援センターケア24
相談コーナー

* 健康相談コーナー * 13:15~16:30



後援: 杉並区歯科医師会・杉並区医師会 協力: 杉並区地域包括支援センターケア24(永福・方南・堀ノ内・浜田山)
主催: 永福和泉地区民センター協議会

2階会場

講演 13:30~14:40

講師 渡辺歯科医院 渡辺政治 院長

1. 体の健康はお口から「健口生活で健康寿命の延伸」
2. 口腔機能向上教室「お口の元気アップ体操」



体操 15:00~16:00 TAC杉並区永福体育館トレーナーによる
「フレイル予防体操」椅子を使って健康体操をします

申込み不要・入場無料・直接会場へ!
ご自由に好きなコーナーにご参加ください



お知らせ

冬の星空観望会 (協力 杉並区立社会教育センター)

令和8年1月31日(土)、方南小学校にて、望遠鏡を使って冬の星空観望会を開催する予定です。

詳細は「永福和泉地区民センター協議会ホームページ」または「広報すぎなみ12月15日号」でご確認ください。



あたま
頭
の
たい そう
体 操

各番号のところに横に答えを入れてください。

- ① 戦国時代の下級武士のこと。豊臣秀吉はここからの大出世。
- ② 「橋」と「箸」は_____が違います。
- ③ 琵琶湖について2番目に大きい湖。
- ④ つけ汁だけでは、もったいない。沢山の料理に使えます。
- ⑤ ムーミンの可愛い物語は、北欧のこの国から生まれました。

①		が	
②	あ		と
③	す	み	
④			ん
⑤	ふ	い	

緑色の枠内の文字をつなげて。

催し物カレンダー まつり まつり イベント 講座 講座 ※ふらっと永福は開館しております。
休館日カレンダー セ 永福和泉地区民センター 下高井戸区民集会所 方南会館 ふ永 ふらっと永福 ふ方 ふらっと方南

11月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24	25	26	27	28	29
イベント						

12月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			
年 末 休 館						

2026年1月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			
年 末 休 館						

ここから始まる 仲間の和、地域の輪

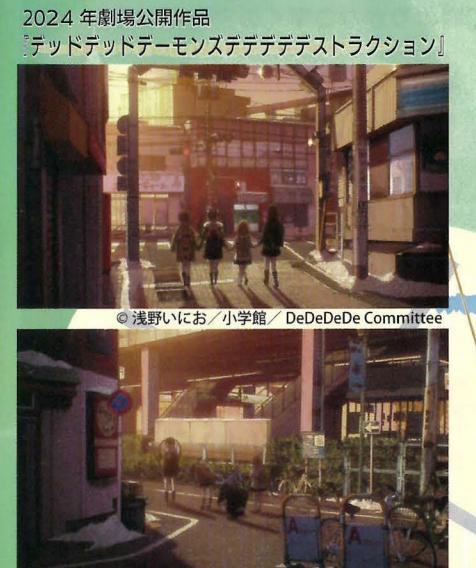
いすみ

おかげさまで35周年



福iz 地域の
口ヶ地めぐり
聖地巡礼

映画の口ヶ地になった福iz地域を紹介します!



『明け方の若者たち』監督 松本花奈



互いに気が交わながら、その気持ちを伝えきれずにそれぞれ別の高校へ進学した舞(上大迫祐希)と智樹(平井アヤ)。ふたりは、中学時代のクラスメイトの葬式を機に、神田川にかかる幸福橋で再会する。神田川沿いを自転車を押しながら歩き始めたふたりは、奇妙で濃密でキュートでファニーな時間をともにすることになる。小さな旅を描いた異色のハートフル青春ロードムービー。

Prime Videoにて見放題配信中。
https://www.amazon.co.jp/video/detail/B0FMF3SHYH/ref=atv_dp_share_cu_
©2021 Sunny Rain

『神田川のふたり』監督 いまおかしんじ



東京でハイテンションな女子高生ラブを送る、小山門出(水幾田りら)と「おんなん」とこと川凰羅(水のあ)。ふたりが暮らす街の上空には、3年前の8月31日、突如宇宙から出現し未曾有の事態を引き起こした巨大な「母艦」が浮かんでいた。日常が常に溶け込んでしまったある夜、仲良しクラスメイトに悲劇が起る。衝撃と哀しみに打ちのめされるふたり…。

原作/浅野いにお「Dedede Dedede Monste De Te De Te Storaクション」(小学館「ピックスピリットコミックス」刊)
映画版およびアニメシリーズ版とともに各種動画配信サービスで配信中。詳細は「Dedede」公式ホームページで。
<https://dedededede.jp/> ©浅野いにお/小学館/DeDeDe Committee

第244号

(令和7年11月5日)

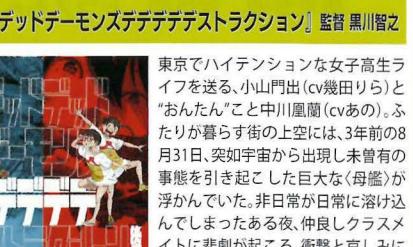
コミュニティ情報

<https://fukuizu.org>発行/
永福和泉地区民センター協議会
☎03-5300-9412福iz とは?
メンバー随時募集!!

永福和泉地区民センター協議会のこと。同センター等を拠点に、地域のコミュニティ形成に取り組んでいるボランティア団体です。

2021年劇場公開作品
『明け方の若者たち』2022年劇場公開作品
『神田川のふたり』

『Dedede Dedede Monste De Te De Te Storaクション』監督 黒川智也



東京でハイテンションな女子高生ラブを送る、小山門出(水幾田りら)と「おんなん」とこと川凰羅(水のあ)。ふたりが暮らす街の上空には、3年前の8月31日、突如宇宙から出現し未曾有の事態を引き起こした巨大な「母艦」が浮かんでいた。日常が常に溶け込んでしまったある夜、仲良しクラスメイトに悲劇が起る。衝撃と哀しみに打ちのめされるふたり…。

原作/浅野いにお「Dedede Dedede Monste De Te De Te Storaクション」(小学館「ピックスピリットコミックス」刊)
映画版およびアニメシリーズ版とともに各種動画配信サービスで配信中。詳細は「Dedede」公式ホームページで。
<https://dedededede.jp/> ©浅野いにお/小学館/DeDeDe Committee

報告



・消防表彰

令和7年9月4日(木)

永福和泉地区区民センター協議会が東京消防庁から表彰されました。

9月9日は「救急の日」です。それに先立って、永福和泉地区区民センター協議会が東京消防庁救急部長から表彰されました。長年に渡る、AED研修を通じて地域の緊急時に備えた活動が認められたものです。



・老後とその先の人生デザインのすすめ 令和7年7月26日(土)

(株)OAGウェルビー代表取締役 黒澤史津乃さんを講師にお招きし講演を行いました。人生100年時代、医療・介護・住まい・お金・相続など、老後から死後までをどう準備するかをテーマに、家族に頼らず自分の意思を託す仕組みやエンディングノートの活用法を学び、後半のワークショップは、自分らしい人生を見つめ直す貴重な機会となりました。



・日本フィルハーモニー交響楽団 ロビーコンサート 令和7年9月8日(月)

日本フィルハーモニー交響楽団による出張ロビーコンサートが開催されました。暑い日にもかかわらず、用意した100席はすぐに埋まり、立ち見の方も出るほど大盛況でした。身近で聴く弦楽四重奏の美しい演奏はとても迫力があり、「今後もまたぜひ開催してほしい」「感動しました」という声がたくさん寄せられました。



・地域の盆踊りに踊り手として参加 みんなの夏祭り・方南ぼんおどり・盆BONえほん祭り

東京音頭、炭坑節、ドラえもん音頭、マツケンサンバ、きよしのすんどこ節、杉並音頭ほか、たくさん踊りました。

8月2日(土) 杉並和泉学園校庭「みんなの夏祭り」[杉並和泉学園校区地域教育推進協議会(あすをりなすの会)主催] イベントや出店、打ち上げ花火もあり大盛りでした。



8月16日(土) 方南小学校校庭「方南ぼんおどり」「方南ぼんおどり実行委員会主催」イベントや出店もあり大勢の親子の皆さんが参加していました。



8月24日(日)「盆BONえほん祭り」[コミュニティふらっと永福・永福図書館] 絵本作家さんが演出のイベント。様々なコーナーがあり、盆踊りではマツケンサンバでノリノリでした。



酷暑の中
3か所で踊り続けた
協議会のメンバー



・和泉学園さざんかフェスタ

令和7年7月12日(土)

和泉学園さざんかフェスタに参加しました。この催しは杉並和泉学園の生徒と杉並和泉学園校区地域教育推進協議会が一緒に作り上げてきたものです。中学生は食べ物、小学生はゲームに分かれ、それぞれ企画、開催しました。午前10時子どもたちのオープニングダンスから始まりました。大盛況で各コーナーの前には長蛇の列、終了予定の12時よりかなり早くの完売が続きました。



・夏休み小学生講座 私たちの生活とお金 令和7年8月23日(土)

講師にキッズマネーステーション認定講師の渡邊雅子さんとアシスタント宮川致恵子さんをお迎えし小学生対象の講座が開かれました。生活にはお金が必要。実際にどれだけかかるかを学びました。買い物では「必要なモノ」「欲しいモノ」「似たモノが家にないか」「順番を考える」などのルールを知り、1円玉1000枚の重さを体験し、お金の使い方、大切さを学びました。



センターまつり 参加者募集

【募 集】 ◆作品展示(絵・写真・書・手作り作品など) ◆ショータイム(ダンス・演奏・その他パフォーマンス)
※1団体10名程度、20分以内 ◆物品・個包装済み食品の販売(非営利団体のみ)



【開催日時】令和8年2月8日(日) 10時~15時

【対象者】永福和泉地区区民センターを利用しているグループまたは周辺地域にお住まいの方(業者は不可) 【申込方法】往復はがきに【センターまつり参加希望】と明記の上、団体・グループ名、代表者名(ふりがな)、住所、電話番号、参加内容【展示内容(パネル数など)、出演内容、出店内容】、参加人数・必要備品などをできるだけ詳細にご記入ください。応募多数の場合は抽選となります。参加される皆様は令和8年1月16日14時開催の説明会にご参加ください。※申込はホームページでも受付けております。※申込は事務局窓口でも受付をしております。その際は、普通はがき(85円)をお持ちください。【締切日】12月4日(木)必着



■令和7年12月講座案内■

日時計を作ろう!



時刻を知る最初の装置は日時計です。昔の日時計や、今の日本や世界の日時計を紹介します。日時計のしくみを学んで、実際に組み立てて、太陽の下で実験してみよう!

【開催日時】令和7年12月13日(土) 13時~15時

【講師名】元東京造形大学教授 小野行雄(おの ゆきお)

【対 象】小学生(1年生と2年生は、保護者同伴) 【定 員】20名 【参加費】無料

【申込締切日】令和7年12月2日(火) 【持ち物】はさみと色鉛筆

*車椅子、手話通訳をご希望の方は事前にその旨をお知らせください。

※開催場所の特記がない限り、全て永福和泉地区区民センターで開催します。
※講座はどなたでも参加できます。(参加対象のある講座を除く。小学生以下の参加可能講座は保護者同伴)

申込方法

HP:
<https://fukuizu.org>



往復はがきに希望講座名・住所・氏名(ふりがな)・同伴保護者氏名(ふりがな)・年齢・電話番号・「いづみ」と明記し、返信用に住所・氏名を記入の上、各締切日(必着)までにお申込みください。はがきは1人1枚に限ります。また、当協議会ホームページ(表紙参照)からもお申込みできます(1申込みにつき1名)。申込み多数の場合は抽選となります。

問合せ・宛先 永福和泉地区区民センター協議会
〒168-0063 杉並区和泉3-8-18 ☎03-5300-9412(平日9時~17時)

往信(表面)	返信(裏面)
85円 往信 168-0063 杉並区和泉3-8-18 永福和泉地区区民センター 協議会 TEL: 03-5300-9412	ご自分の郵便番号 何も記入しないでください ご自分の住所 ご自分の名前 ①講座名 ②住所 ③氏名(ふりがな) ④年齢 ⑤電話番号 いづみ

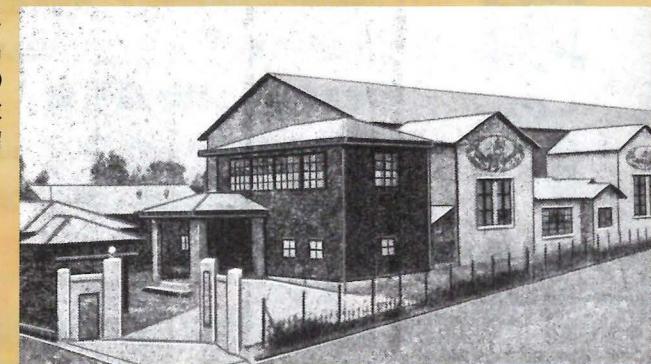
往信(裏面)	返信(表面)
85円 返信 □□□□□ ご自分の郵便番号 何も記入しないでください ご自分の住所 ご自分の名前 ①講座名 ②住所 ③氏名(ふりがな) ④年齢 ⑤電話番号 いづみ	往信(表面)

講座の申込みは、事務局でも受付しております。その際は、返信用の普通はがき(85円)をお持ちください。

杉並区立郷土博物館

特別展 「昭和歌謡は杉並から生まれた —テイチク東京吹込所物語—」

昭和9年(1934)杉並区堀ノ内に帝國蓄音器株式会社(現 株式会社テイチクエンタテインメント)の東京吹込所が開設され、ここから数々のヒット曲が生まれました。杉並区はまさに、昭和歌謡を生んだ中心地だったのです。昭和100年という節目の年である今年、テイチクを彩った作曲家や歌手を紹介し、日本歌謡界や文化へ及ぼした功績を振り返るとともに、今なお色あせることのない昭和歌謡の魅力をお届けします。



令和7年10月25日(土)~令和7年12月7日(日)

会場 杉並区立郷土博物館 特別展示室

杉並区大宮1-20-8

【時 間】9時~17時 【対 象】一般

【休館日】月曜日、第3木曜日(祝日・休日の場合は開館、翌平日が休館日)

【観覧料】100円(中学生以下、障害者手帳等を提示の方およびその付添いの方は無料)、団体は20名以上で1名80円

【関連イベント】

①は申込が必要(抽選)。②は申込不要。申込方法等詳細は、広報すぎなみ(10月1日号)、または区公式ホームページをご参考ください。

①講演会「昭和戦前・戦中期のテイチクレコード」(※事前申込制)

11月16日(日)午後2時~午後4時 (於セシオン杉並1階展示室) 講師 刑部芳則氏(日本大学商学部教授)

②学芸員による展示解説(※申込不要)

11月1日(土)、15日(土)、24日(月・振休)、12月6日(土) 各日午後2時~2時30分(於郷土博物館 特別展示室)

問合せ:郷土博物館 [03-3317-0841]

